2015年6月号「vol.60」◎編集：新井絹世　横浜市磯子区丸山2-24-3　◎電話：045-751-5250 ◎FAX：045-761-7451

県議会議員

あらい絹世の 磯っ子レポート

県政をもっと身近に

http://www.araikinuyo.jp

手足のリハビリ支援用などの2商品開発
神奈川県の「ロボット産業特区」で成果

「指定した地域で先駆的な取り組み、国と地域による集中・集積的な政策展開を推し進める中で経済成長戦略実現や地域主権改革の突破口にしたい」と、国が平成23（2011）年度にスタートさせた総合特区制度について、神奈川県では23年12月に「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略特区」、25年2月に「さがみロボット産業特区」、26年5月にはこれら2つの取り組みを踏まえて「県内全域を対象とする特区」の指定を受けました。特区では「規制緩和」「税制」「財政」「金融」面で特例・支援措置を受けられる利点がありますが、神奈川の特区のいち早い成果として「生活支援ロボットの実用化を通じた地域の安全・安心の実現」を取り組みの目標とする「さがみロボット産業特区」で、今年4月までに「手足のリハビリを支援するパワーアシストハンド・レッグ」と「災害応急復旧用無線遠隔操縦ロボット」の2つの商品が開発され、販売を始めています。また開発品の実用化・普及啓発のため県では今年5月から、生活支援ロボットを県内の介護・福祉施設、福祉系専門学校などで試用してもらう「ロボット体験キャラバン」をスタートさせ、同時に開発品の導入を本格的に考えている所を対象にした「生活支援ロボットのモニター制度」も導入しました。

ロボットスーツ「HAL」

同ロボット産業特区は今春、全面開通したさがみ縦貫道路に沿った相模原、厚木、藤沢市などの10市2町にまたがるエリアにあり、担当の県産業振興課によると、全国から参加した約200社が一緒に開発に携わっており、実証実験が行われて商品化が近いケースが55件に上っているといいます。

「パワーアシストハンド・レッグ」は、空気圧を利用して手指や足首の屈伸運動を手助けする運動支援ロボット。既に販売されているハンドに続きレッグは27年度中販売の予定。「災害用無線遠隔操縦ロボット」は油圧ショベルの運転席にそのまま座らせて固定し、汎用重機を無線遠隔操縦仕様にすることが可能なロボット。無線操縦する災害用ロボット自体の開発は少なくないといいますが、乗り込む人に変わって重機を操縦するロボットは珍しいといいます。生活支援のロボットの開発は通常、企画から販売まで5～10年かかるといわれる中で、短期間で実用化された今回の同特区での成果には関心が高まっているといいます。

また、箱根山で火山活動が活発化していることから火山活動に対応出来るロボットの開発の検討も進めています。

コレが言いたい！

ロボットが一般生活に密着し人間とロボットが共生する社会が遠い未来の絵空事ではなくなってきています。今後ロボットを開発する技術者への「ロボットを製造する倫理」やロボットが社会参入することで「ロボットを使う倫理」が必要になってくるのではないでしょうか。

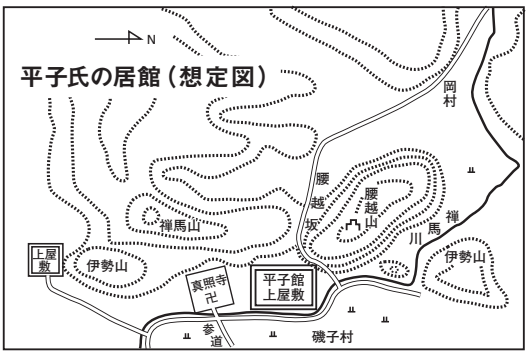
今月のひと言

5月12日から7月13日まで第二回定例会が開会されています。第二回定例会では先ず、常任委員会などの所属が決りました。○県民企業常任委員会委員　○行財政改革・地方分権特別委員会副委員長　○自民党神奈川県議会議員団政務調査会副会長に任命されました。

磯子 あれ？これ？

「磯子区の城砦(じょうさい)」

平安時代末期から室町時代(戦国期)にかけて約330年間、横浜の中心部である現在の中区・磯子区・南区の一帯は平子(たいらこ)氏が領していました。平子氏の城館は磯子の真照寺付近といわれ、腰越(こしげ)山に平子山城を築き館と合わせて「磯子城」と呼ばれていました。腰越山の最高所には物見台があり、峰続きの尻もち山・禅馬山・伊勢山(現岡村交番裏)なども城塞化されていました。山城の東麓には平子氏の菩提所の真照寺と館の上屋敷があり、伊勢山南下には周りを塀で囲んでいた下屋敷がありました。磯子城の東から北側には禅馬川が流れ、外堀の役割も果たしていたといわれています。



平子氏の城砦は磯子城の他に、南区の宝生寺付近の堀の内に石川城があり、蒔田・本牧八幡山・伊勢山・離れ山などにも城館や出城・砦があったとされています。

小田原北条氏の二代目氏綱の進出により、蒔田に吉良氏が入り蒔田城を居城とし、その後、平子氏は郷を追われるように越後に移り住んだと思われます。

現在、山城のあった腰越山は消滅して館の跡地には民家が建ち並び、かつての遺構は何ひとつ在りませんが、腰越の名前が残っているものとして、磯子八丁目に「腰越公園」「腰越プール」があります。

参考資料:磯子の史話・磯子のれきし他

活動報告

自民党神奈川県議会議員団政務調査会で、5月12-13日に火山活動が続く箱根山を訪れ、箱根町長や地元観光協会、県温泉地学研究所などと意見交換会を行いました。団体客や修学旅行などのキャンセルが相次ぎ、火山活動が長期化すると箱根の基盤産業である観光業に大きな影響が出てきます。火山活動により立ち入りが禁止されている場所は箱根山の0.3%です。又、温泉地学研究所では日頃より箱根山の監視を行っていますので、正確な情報を提供し風評被害を無くすよう努めていくということです。

自民党神奈川県議会議員団政務調査会にて箱根山の視察

箱根町長と意見交換

噴煙をあげる大涌谷

あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日　横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井㈱ / ㈱メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 平成27年4月 県議会議員2期目当選
- 県民企業常任委員会委員
- 行財政改革・地方分権特別委員会副委員長
- 自民党神奈川県議会議員団政務調査会副会長

あらい絹世に対するご意見・ご感想・ご要望・メッセージをお寄せ下さい・・・・・・・・・・・ FAX 045-761-7451